



人口減少や少子高齢化に対応する取り組みとして、交流人口拡大プロジェクトが進められています。その中心施策である観光推進組織構築事業の進捗状況と今後の見通しについてお聞きします。



工藤孝一 議員

持続可能な自主自立の町づくり

一般質問

しかし、交流人口拡大の目標でもある転出超過に歯止めをかけ、定住していただくためには、本町の魅力をさらに伝え、「小清水ファン」の増加を目指すこと、また、地元の受け入れ意識の向上も必要と考えていますので、今後も国の交付金等を活用し、観光協会をはじめ関係機関

国の交付金を活用して進めている観光推進組織構築事業は、昨年設立した観光協会を中心にイベントの企画や積極的な町の情報発信など、交流人口拡大に向けた各種事業に取り組んでいただいているところです。また、拠点となるツーリストセンターの整備後、道の駅などの利用者も増加している状況から、大きな成果に繋がっていると判断しています。



久保 弘志 町長

答①

考え方をお聞きします。

町の魅力づくりに成功している自治体では、何気ない工夫で人と人とを結び仕掛けづくりに取り組んでいます。こういった仕掛けづくりを学び、共有していくことが町民にとって必要不可欠だと感じています。再度

持続可能な自主自立の町づくりには、国の財政支援と人口の安定化が重要で、私たちが取り組むことは、地域づくりに積極的な「ターン」を招き入れ、その方たちが自由に活躍できるようにバックアップ体制を整えることだと思っています。

問②

とともに農業・商工・観光が連携したまちづくりを進めていきたいと思っています。



答②

議員がおっしゃるとおり、移住されている方の理由としてその町に魅力があったこと、町の受け入れ体制がしっかりしていたことというのは私もお聞きしています。北陽工場の福太郎やアウトドアカー大手のモンベルができたことにより、本町に來られる方、いわゆる交流人口は明らかに増えていますが、この方々にいかに定住していただくか、また、市街地にかけていたかが今後の課題だと感じていますので、観光協会を中心に本町の魅力を発信し、さらには働く場所や住む場所を確保するなど、住みよい町にしていきたいと考えています。

平成30年度 補正予算 **可決**

▶一般会計 歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億4千202万円を追加し、歳入歳出の予算の総額を58億5千360万4千円とするものです。主な補正内容は次のとおりです。

補正科目	補正額	主な補正内容
総務費	13,508千円	開町100年記念式典事業費、災害対策費 など
民生費	128千円	高齢者等住宅整備事業費補助金 など
衛生費	10,297千円	第3期小清水町地球温暖化対策実行計画策定業務委託料 など
農林水産費	146,910千円	中山間地域所得向上支援事業費補助金 など
商工費	1,296千円	小清水ツーリストセンター雨樋等設置工事請負費
土木費	20,201千円	町道修繕料、源泉及び温泉利用施設等長寿命化計画策定業務委託料 など
教育費	49,680千円	町民プール暖房設備改修工事請負費 など
合計	242,020千円	

- ▶国民健康保険特別会計 歳入歳出それぞれ1,200千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ947,144千円とするものです。
- ▶介護保険特別会計 歳入歳出それぞれ7,123千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ530,683千円とするものです。

決算審査特別委員会 決算 **認定**

議長及び監査委員を除く8名で構成する決算審査特別委員会を設置し、第4回町議会定例会において付託された、平成29年度各会計歳入歳出決算について審査を行いました。

また、同委員会において審査結果が報告され、次のとおり認定されました。

- ▶決算審査特別委員会 委員長…林 幸雄 議員 副委員長…八木 勝正 議員
- ▼一般会計 委員長報告のとおり認定
- ▼後期高齢者医療特別会計 委員長報告のとおり認定
- ▼簡易水道特別会計 委員長報告のとおり認定
- ▼国民健康保険特別会計 委員長報告のとおり認定
- ▼介護保険特別会計 委員長報告にとおり認定
- ▼農業集落排水事業特別会計 委員長報告のとおり認定

平成29年度 各会計歳入歳出決算状況

会計名	収入済額	支出済額	翌年度繰越額（※繰越明許費含む）
一般会計	6,527,232千円	6,114,653千円	412,579千円
国民健康保険特別会計	1,083,639千円	997,401千円	86,238千円
後期高齢者医療特別会計	87,725千円	87,030千円	695千円
介護保険特別会計（保険事業）	534,516千円	500,611千円	33,905千円
介護保険特別会計（サービス事業）	19,874千円	19,874千円	0千円
簡易水道特別会計	291,874千円	272,108千円	19,766千円
農業集落排水事業特別会計	369,875千円	358,216千円	11,659千円

繰越明許費とは…歳出予算のうち、経費の性質上又は予算成立後の事情によって、年度内に支出が終わらないと見込まれるものを、議会の議決を得て翌年度に繰越して支出できるようにする制度。